



所 旗

- ▲は人を示し、同時に十勝岳主峰とトドマツをかたどり、○とあわせて大雪の大をあらわす。
- ○は宇宙の統一と人の和を示す。
- 円の中心に▲の頂点を定めたのは、心身一致で人生の目標をめざす青年の鋭い探求心を意味づけている。
- 左右相称の簡明率直さ、コバルト・ブルーの清明さは、いずれも若人の純粋性を表現している。

(制定・昭和41年9月10日 国立大雪青年の家職員共同考案)

国立大雪青年の家の歌

作詞 花岡 博
作曲 米山正夫

明るく軽快に

しらーかばの はやしをゆけば
とかーちだーけ くもまによぶよ
わこうどの わこうどの かがーやく そのきぼう
たくまし く いきるよろこび ここーにわく
ここにつどえ ば

- 一、白樺の 林をゆけば
十勝岳 雲間に呼ぶよ
若人の 若人の
輝く その希望
逞しく 生きる喜び
ここに 湧く
ここに 集えば
- 二、とどまつの 小道に立てば
美瑛川 瀬音の澄むよ
若人の 若人の
みなぎる その力
きよらかに 生きる喜び
ここに 湧く
ここに 集えば
- 三、泉湧く 雪消の谷に
やちぶきの やさしく 咲くよ
若人の 若人の
溢れる その想い
あたたかく 生きる喜び
ここに 湧く
ここに 集えば